

次世代抗体の現状と今後 ～基礎研究から医薬品開発まで～

日 時:平成 30 年 2 月 22 日 (木)

会 場: 武田先端知ビル (東大浅野キャンパス) 5階武田ホール
東京メトロ千代田線 根津駅下車 1 番出口 徒歩 7 分

開会の辞 (13:00-13:05)

高木淳一 (阪大・蛋白研)

セッション 1 抗体研究の最前線: 特に AMED 創薬プロジェクト関連
13:05～

座長 高木淳一 (阪大・蛋白研)

「CasMab 法によるがん特異的抗体開発」

加藤幸成 (東北大院・医学系)

「受容体型チロシンキナーゼのプロセッシング断片によるがん悪性化進展制御の解明とその特異抗体の医療応用」

越川直彦 (神奈川県がんセンター)

「がん細胞表面抗原のみを介して感染する標的化改変ヘルペスウイルスを用いた腫瘍溶解性ウイルス療法の開発」

内田宏昭 (東大・医科研)

セッション 2 蛋白質 (抗体) の免疫原性研究
14:45～

座長 津本浩平 (東大院・工学系)

「ADAs 抑制の蛋白質工学」

植田 正 (九大院・薬学)

「HLA-G による免疫制御に関する研究」

前仲勝実 (北大院・薬学)

「TNF ファミリー分子群による免疫制御機構」

宗 孝紀 (富山大・薬学)

セッション 3 抗体応用研究の最前線: RS と工学
16:30～

座長 植田 正 (九大院・薬学)

「抗体医薬品のレギュラトリーサイエンス研究 ～免疫原性の評価とリスク低減策～」

石井明子 (国衛研・生物薬品部)

「ドメインライブラリーの発想による機能性低分子抗体の創出とルール抽出」

梅津光央 (東北大院・工学)

閉会の辞

津本浩平 (東大院・工学系)

～懇談会～ 講演会場横ホワイエにて

【世話人】梅津光央 (東北大院・工学)、津本浩平 (東大院・工学)、高木淳一 (阪大・蛋白研)

◎セミナー事務局 565-0871 大阪府吹田市山田丘 3-2 大阪大学蛋白質研究所分子創製学研究室 境 美絵

e-mail: m-sakai@protein.osaka-u.ac.jp

参加要領: 参加費無料、事前登録不要、懇親会参加歓迎